

令和6年1月17日

保護者様

北浦中学校長 佐藤 清

第1回北浦中学校「制服のあり方」検討委員会（12/20開催）の報告について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて本日は、本校で12月20日に開かれた「制服のあり方」検討委員会の報告をいたします。下記の中で、第1回検討委員会の開催に至った経緯やその当時の協議内容についてご報告をさせていただきます。ぜひご理解と今後のご協力をお願いいたします。

記

1 第1回北浦中学校「制服のあり方」検討委員会開催までの流れ

学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化、多様性の尊重（例えばLGBTQ+など）といった観点から、昨年度の後半に行方市で「行方市中学校制服のあり方に関する検討委員会」が立ち上がりました。市内各校からの職員と保護者代表及び有識者で組織され、本年度もすでに市では2回開かれています。

その行方市の検討委員会から各中学校に対して要請があり、それぞれの中学校ごとに今後の制服のあり方について検討を進めることになりました。市内3中学校で制服やその整備状況はそれぞれ異なるので、市全体ではなく学校ごととなっています。ただし、北浦中学校においては第1回の検討会の開催が遅れ、12月になってしまいましたことをお詫びいたします。

2 第1回検討委員会のメンバー

保護者：PTA会長、PTA副会長2名、学年委員長3名、学年副委員長6名

職員：校長、教頭、教務主任、生徒指導主事

計 16名（当日の出席者は12名）

3 第1回検討委員会の内容

(1) 校長よりの伝達

検討委員会開催までの流れ（上記1の内容と同じ）と市内中学校の現況について概要を説明しました。市内他の2中学校の現況についてですが、麻生中学校は現在男子は詰め襟、女子はブレザーとスカートです。検討会では女子のブレザーに合うスラックスの選定をすでに終えており、この4月からはブレザーの下は、一人一人スカートかスラックスのどちらかを選べるようになります。玉造中学校は、もともと詰め襟とセーラー服ですが、男女ともに令和7年度の1年生からブレザー型の制服に変えることが決まり、12月の検討会で業者選定を終えたところです。

(2) 北浦中の今後の制服あり方についての協議

生徒の多様性の尊重（例えばLGBTQ+など）、制服の機能性、デザインなど幅広い観点から様々な意見をいただきました。以下はその一部になります。

- ・制服や着やすいものがよい。
- ・現在のはファスナーがあり着づらいと言っている。
- ・他校や高校の女子の制服のブレザーを見て、かわいくていいなと子どもが話している。
- ・ブレザー型がいいのでは。
- ・詰め襟のカラーは割れていると痛い。
- ・スラックスだけでなくキュロットなど半ズボン型も選べるとよいかと思う。
- ・夏場は、上がポロシャツというのはだめなのだろうか。

第1回検討委員会はもともと制服について何かを決定する会とは設定していませんでしたので、決めたことはありません。ただし、参加者の意向としては、周辺を含め様々な観点から、新たな制服を検討する方向の方がよいのではとのことでした。

(3) 第2回検討会の内容とそれに向けて確認した内容

以下は、検討会の最後に全員で確認した内容になります。

- ・3学期に入ったら、一度「生徒・保護者・職員」に対して制服に関するアンケートを実施し、その結果を第2回の「制服のあり方検討委員会」での参考資料の一つとする。
- ・アンケート結果も踏まえ、今後の北浦中学校の制服のあり方について協議し、どのようにするか決定する。

4 今後の予定

(1) 生徒・保護者・職員へのアンケート実施（ 구글フォーム等を利用）

1/18(木)～1/24(水) 【集計 1/25・26】

(2) 第2回「制服のあり方」検討委員会

1月最終週・2月第1週で調整

(3) 第3回以降については、第2回検討会の中で確認

5 最後に

今後検討委員会での協議内容は、今回のように文書やホームページを使い皆様に報告していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

北浦中学校

教頭 大和田 政博

TEL 0291-35-2161